

特別支援教室専門員の仕事に丁寧な説明を

全教・都教組
杉並支部
リニューアル

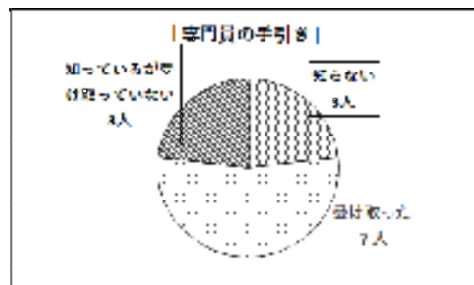
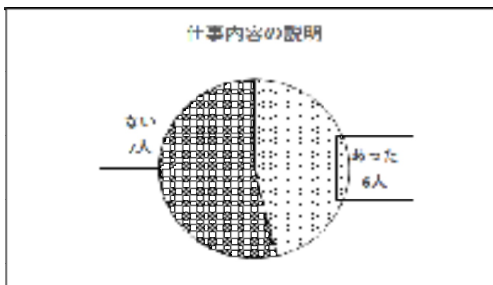
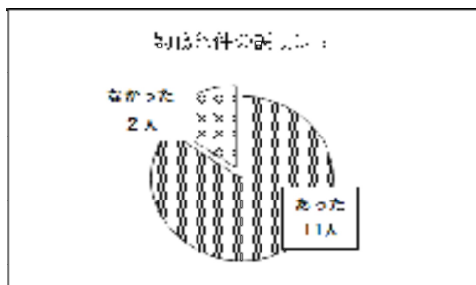
都教組非常勤職員部がアンケート 13人の方から、勤務状況や仕事の思いが寄せられました

「特別支援教室の円滑な運営に必要な業務（連絡調整、児童の行動観察及び指導記録の作成・報告、個別の課題に応じた教材作製）及び関係事務処理を行うものとして新設された特別支援教室専門員の方に、勤務状況や仕事への思いについて、都教組非常勤部がアンケートを行いました。杉並では13人の方から回答をいただきました。その集計の一部を紹介します。これを機に、専門員の仕事の理解と職務改善がいつそう進むことを願います。（裏面もご覧ください）

特別支援教室専門員の勤務条件について、管理職から説明はありましたか

管理職から仕事内容について説明はありましたか

文書「専門員の手引き」があることを知っていますか



休憩を含めた勤務時間について、休暇の取り方についてなどは最低が必要です。2人にはすぐ説明を。

始まったばかりの制度だが、説明なしが半数を超えるとはいど過ぎる。仕事内容の点検が必要です。

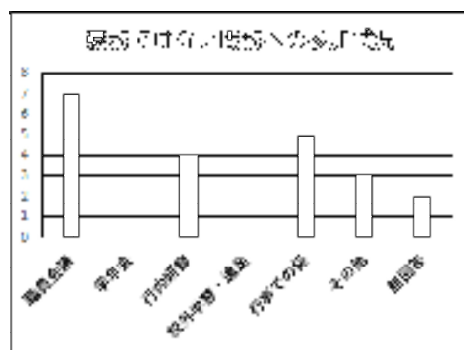
「手引き」はすぐ本人に渡してほしい。こんな簡単なことが放置されたままであってはなりません。

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
2019年
7月17日
NO, 5
Tel 3399-8719
Fax 3399-3855



次の職務に参加していますか。
なお、下記職務への参加は義務ではありません。（複数回答可）

学校の流れや子どもの環境理解のために善意で参加している場合もあるでしょう。その場合でも義務的でないことを説明し、本人の了承が必要です。



6月20日
わくわく教研「作文指導と文学作品の読み」お話しする
講師の 小美濃威(たけし)さん

大切な「子どものつぶやき」 (内言)を育てること

6月20日小美濃威さん（東京作文協会会長、浜田山小）をお呼びしての「わくわく教研」は、大変有意義な集いとなりました。裏面に会の内容の概略を紹介しますのでお読みください。

（当日の資料など必要な方は支部事務所まで。）

長時間労働をなくすため、「せんせいふやそう」ネット署名の取り組み中

「1年単位の変形労働時間制」の導入ではなく、教職員定数の抜本的な改善によって教職員の長時間過密労働を解消することを目指しています。教職員はもとより、父母、保護者、広範な国民の皆さんに賛同を呼び掛けています。

- 1 教職員を大幅に増やしてください
 - 2 「1年単位の変形労働時間制」の導入はやめてください
- すでに1万5000筆以上寄せられています。ぜひ、ご協力ください。

全教
ネット署名に
change.org
ご賛同を!

スマホのバーコードリーダーをかざすと署名の画面につながります。

訂正 前号1面「学校でできること」の中での「中間的」は「習慣的」の間違いでした。

アンケートの続き ()は人数

2020年度から特別支援教室専門員にボーナスが支給されることを知っていますか？

知っている(4) 知らなかった(9)

複数の巡回教員の指示が異なり、迷うことはありますか

ある(0) ない(13)

管理職の指示で巡回教員の指示とは違う児童生徒の支援をすることがありますか

ある(3) ない(8) 無回答(2)

校務用パソコンは、自分専用のものがありますか

ある(13) ない(0)

専門員で良かったことや、やりがいなどについて○をつけてください (複数回答可)

- ・平日に休めるので、通院、金融機関に行くなどの家事用事をする事ができる(8)
- ・ゆとりを持って子どもたちに接し、成長をみることができる(8)
- ・現職教員を援助することができる(6)
- ・勤務時間内に仕事を終わることができる(4)
- ・毎日規則正しい生活ができる(4)
- ・若い教職員との交流など、常に社会に関わることができる(2)

仕事上の悩みや不安、東京都や教育委員会への要望に○をつけてください (複数回答可)

- ・給与を上げてほしい。給与額に比べて勤務時間が長い(7)
- ・引率、研修は、本人が希望する場合は認めてほしい(6)
- ・管理職は、特別支援教室専門員の仕事内容や勤務条件を職員に伝えてほしい(4)

その他、文章記入から

管理職の理解の実情によって仕事内容が全く異なるのはどうかと思う。

給食をクラスに入り食べさせられている。

テストの拡大コピーをやらされる。

部活の顧問をやらされている。(若い専門員は今後、教員になるための腰掛のため、そのように使われている)

修学旅行に行かされた。有給休暇をとり、介助員になって行った。

研修は、年間2回では足りない。拠点校でエリアごとに行う連絡会を公に認めてほしい。拠点校手当の導入を希望。

・学校による「差」があり、特別支援室の教員(巡回指導教員)にもアンケートをとって現状の有様を把握してほしい。

子どもの「つぶやき」(内言)を育てる

最近改憲の動きが自民党や日本会議などから盛んに起こっています。先生は「憲法のことを言うと『左』と見られかねない危険な雰囲気を感じます」「日本国憲法の条文をふまえ、国語があり、道徳があり、そして作文があるのです」「私たちはたくさんの人権によって守られています。しかし、それらは使わないといつの間にか、気づかぬうちに奪われてしまいます。そこで児童生徒向けに『日本国憲法のはなし

基本的人権』という教材をつくりました」と授業で使える文書教材を提示して頂きました。

次に、実際に資料を示しながら「道徳教材中の挿絵、短冊、指導書の朱書きなどに、子どもたちのところを一つの方向に誘導する危険性を感じます」「国語が道徳とセットで思想統制に利用された過去の過ちを繰り返さぬよう、教師は細心の注意を払わなくてはならない」と警鐘を鳴らしました。

そして、作文指導の実際に入りました。

「大切なのは、ひとり言読みの

練習を重ねることなどを通して内言(つぶやき)を耕すこと」と強調され、参加者が生徒になって模擬授業形式でやってみました。

「さらに読みの手がかりになる言葉を見つけ、会話をイメージしながら読みを深めます。その作業を重ねる中で文をつづらせることが大切です」「その中で大切なのは、内言を大切に身近な生活を書かせること、子どもたちの本音を綴らせること、書く題材に教師がしぼりをかけたか、教師が

喜ぶような忖度作文に陥らないこと」「子どもたちの生き生きとした作品をもとに指導の核心と私たちが陥りがちな過ちを指摘してくださいました。

「どんな題材で作文を書かせたらよいのか」「板書で気を付けることはどんなことか」など実践的な質問も出され実り多い会となりました。

最後に言語学者のヴィゴツキーを引用され「内言を支配されることは人格統制されること」と示唆に富んだ言葉で結ばれたのが大変印象的でした。(K.K)



アンケートから

板書の例も教えていただきました

「内言」を大切にしていける。その通りだと思いました。社会科でもそうでなくてはならないなあ。そして自分の言葉をもっと大切にしなければならぬとも思いました。あ～国語もう一回やりたいなあ...おもしろかったです。ありがとうございました。

文学作品の読みについてが最も印象に残りました。ひとり言読みの練習をさっそくクラスで取り組みたいと思います。相手の話に常に何かをつぶやきながら聞かなくて大切なことですね。「スーホの白い馬」「一つの花」「ごんぎつね」では、普通と異なる書き方に注目することを教えていただ

きました。「起きて」と「はね起きて」・・・「はね起きて」では登場人物の気持ちが込められています。板書の仕方も図を使うといいですね。詩の書かせ方も事実タイプや話しかけタイプがあると提示など今後の授業に活かしたいと思います。図や矢印を使った板書にも挑戦したい。子どもたちの詩にはとてもほっこりしました。国語の授業をするのが楽しみです。

先生のお話は何度聞いても心がふるえる。涙が出る。やる気が出る。そしてとつともためになる。私はもう教える機会は減っているけれども、どんな時でも子どもに表現力をつけるチャンスがあるのだと思えてなりません。個人的には、浅田次郎の言葉の「動詞」「言葉の選別」を動き(体の)と言い換えると、舞踊(ダンス)にも言えると気づき、心にピタとはまりました。

8/2～8/4 開催20回記念 戦争・原爆・原発・平和と憲法を考える展示とイベント

すぎなみ

ピースフォーラム 2019

杉並の戦争と平和の歴史を知るまたとない機会です

誘いあわせておいでください

展示内容の例：「杉並の戦争と平和」「特別展示・朝鮮3・1独立運動100年」「原爆と人間証言：横田基地・住民の願い・住民の運動 小学生に被爆体験を語る活動(4日13:30～)」

会場：産業商工会館 主催：杉並ピースフォーラム実行委員会 後援：杉並区・杉並区教育委員会